



学校だより

横浜市立大鳥小学校

令和8年 8月 31日 発行

9月号

学校長 寺園 淳

学校教育目標

はばたく力

- ◆自己をみつめ粘り強く挑戦し続ける子
- ◆自他の違いを見つけ協力し合う子
- ◆笑顔あふれる大鳥のまちをつくる子



## 大鳥のまちで、大鳥の子どもを育てる

児童支援専任 青木 伸洋

子どもたちの元気な声が帰ってきました。子どもたちが夏休みどんなことをしたのか、他愛もない話をするのが、この時期の楽しみの一つです。

私自身はこの夏、地区懇談会や児童支援専任の研修に参加してきました。

地区懇談会では、ある町内会長の方が、この夏初めて町内会の夏祭りを企画し、準備を進めているというお話をされていました。その方は流しそうめん担当だそうで、そうめんを流す竹を準備していて、どこからそうめんを流したら子どもたちが喜ぶかなと、とてもうれしそうに話されていました。他の方も、子どもたちが楽しめるように、地域として、どんなことができるか考えて企画されている方が多くいらっしゃいました。本校に異動して9年となりますが、そういう考えをもってくださる保護者の方、地域の方が多く、ありがたいことだと日々感じています。

また、研修では、前任校の進学先の生徒指導専任の方と話をする機会がありました。教え子の、中学校での様子について詳しく話を伺うことができ、懐かしむとともに自分の知らない子どもたちの姿を聞くことができ、とても幸せな時間となりました。大鳥小学校を含む2中4小ブロックでは、子どもの様子について情報を共有したり、授業をお互いに見たりする機会を設定しています。今年は中学校の授業参観にも参加させていただきました。本校を卒業した子どもたちが、新しい環境で学んでいる姿を見ることができて、有意義な時間となりました。

改めて子どもの成長のために、保護者の方はもちろんですが、地域の方、小学校、中学校、幼稚園や保育園、その他習い事等、様々な人がかかわっているのだと感じました。

夏休みの期間も変わらず、子どもたちを見守ってくださり、ありがとうございました。今後とも大鳥の子どもたちを、一緒に育てていただければ幸いです。

夏休み明け、大鳥小学校は遠足や、社会科見学、宿泊体験学習、修学旅行、わくわくワールドと行事が続きます。保護者の皆様、地域の皆様のお力をお借りすることも多々あるかと思いますが、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。